

## 第五回番組審議会 審議議事録

1. 開催日 平成 27 年 8 月 24 日（月） 18:00－19:00
2. 開催場所 中央会館
3. 委員出席 委員総数 : 6 名 出席委員数 : 5 名 欠席委員数 : 1 名  
出席委員 : 番組審議委員会会長 勝見 英一朗  
番組審議委員会副会長 齋藤 喜内  
番組審議委員 寺嶋 宏武  
番組審議委員 村田 裕子  
番組審議委員 谷澤 秀一  
送事業者側出席 黒澤栄（代表取締役）  
高石仁光（番組制作ディレクター）

### 4. 議題

- (1) 代表者挨拶
- (2) 御審議
- (3) その他

### 5. 議事の概要

- (1) 開会
- (2) 代表者挨拶 黒澤 栄
- (3) 御審議
  - ①経過報告 高石仁光（番組制作ディレクター）
  - ②番組審議  
黒獅子まつり公開生放送  
ながい水まつり公開生放送
  - ③番組内容、構成、その他、全般について

### 6. 審議内容

#### ①経過報告

<高石>

・番組取材で取り上げた出演者や商品の背景がしっかり伝わるように。  
番組の途中から聴いた人もわかるようにナレーションを工夫して取り組んでいる。  
ステッカー（番組の区切り）を入れ、構成にリズムやメリハリがでるようにしている。

・7月・8月の運営のトピックス

7月からの番組改編について、隔週放送等、番組のプログラムを見直した。

新番組として、長井地区歯科医師会様提供の「おらんだ先生のお口のワンポイントアドバイス」という番組が始まった。(月曜日 7:45～)

他放送局と連携し、放送番組の交換や無償提供番組を増やしている。

7月後半には、大正大学のフィールドワークとして、大学生が取材し、編集した番組を放送した。

8月に公開生放送の第2段として、ながい水まつり会場から6時間の生放送を9名のパーソナリティで実施した。市長にもご出演頂き、会場の賑わいや臨場感が伝わる放送ができた。

#### ・防災情報の発信について

消防からの放送要請について、7月は4件、8月は0件だった。

警察署からの放送要請は、平山の行方不明の男性(発見)、国道348号のトンネル内の交通事故のための迂回路案内、8月の国道348号の交通事故による片側通行の案内(リスナーからの情報提供)を行うことができた。

#### ・長井市からの緊急割り込み放送試験

8月より第3水曜日に長井市の災害時における緊急割り込み放送の試験を実施している。自動起動ラジオのテストとJアラートの作動確認が目的となる。

#### ・ラジオ出演者数

おらんだラジオの出演者数が、975名。(8月19日現在)開局時に目標としていた1,000人までまもなくとなった。

#### <寺嶋委員>

7月からパーソナリティ等、変わった所はあるのか

#### <高石>

新規のパーソナリティの採用はないが、新しいコーナー「おらんだ先生のお口のワンポイントアドバイス」は、パーソナリティの菊地奈採が担当している。元歯科衛生士のため、先生とコミュニケーションもとれ、適任だと考えている。

#### <勝見委員長>

番組の改編や改編に関する意見の徴収などはどのようにやっているのか。

#### <高石>

毎週金曜日に番組の政策会議を行ない、番組について協議している。作成してみてコスト的に見合わない番組は、改編を期に見直している。取材・収録・編集が必要な番組は、少人数での運営という事で、見直し、生放送内で対応できるようにシフトチェンジしている。一般のリスナーからは、ホームページのフォームからメッセージという形で頂戴している。封書や電話等で頂く場合もあるが、連絡先がわかるものは、都度、返答している。

<齋藤副委員長>

コスト（費用）はどうなっているのか

<高石>

メインで発生しているコストは、パーソナリティの人件費と番組制作をアウトソースしている 2 番組の制作費になっている。最近では、長井市のお知らせ等の事前収録のためのパーソナリティ費用等が増えているので、長井市と調整したいと思っている。

<黒澤>

限られた人数のため、編集のための社内コスト（人員）の方が、問題。作業が深夜に及ぶことも多く、社員の負担となっている。初年度という事もあり、手探りでラジオ製作をしていたが、社内事情を考慮し、番組数を調整したり見直しを行なっている。経営側としては、今後の課題と考えている。

<齋藤副委員長>

11 月で開局 1 周年を迎えるが、1 年を振り返ってどんな感じか。  
また、1 周年に向けて考えていることは。

<高石>

様々な方のご協力のおかげで無事、1 年を迎えられそうだと感じている。  
1 年運営してみて、やはり生放送が防災放送としての威力を発揮できるのではないかと  
思っている。  
アンケートを実施し、ラジオを聞いて頂いている時間帯が、通勤帯が多かった  
ので、10 月からは、生放送の時間を通勤時間帯に被るように増やしたい。  
生放送の電話中継やラジオカーの導入等で、地域の様々なところに出向き、リアル  
タイムの情報発信をできるように今後対応していきたい。  
今後は、飯豊町や白鷹町等の広域の情報も共有していけたらと思う。

<黒澤>

ラジオカーは、9 月 10 月頃をめどに準備したいと検討している。

<勝見委員長>

生放送が防災放送としての威力を発揮できるとはどういうことか。

<高石>

生放送以外の時間帯は、割り込み放送となるため、放送要請が無ければ割り込みの緊急情報として発信することが出来ない。渋滞情報やイベント情報等、タイムリーな民間レベルの情報を発信出来ない。

生放送内でゲストとして出演して頂き、イベント情報等を PR して頂くコーナーを設けている。

## ②番組審議

<勝見委員長>

今回視聴頂きました、黒獅子まつりと水まつりの公開生放送についてのご感想やご意見をお願いします。

<齋藤副委員長>

- ・パーソナリティが慣れてきて、素直に表現している。楽しく会話している様子を感じることができた。がんばっている様子が伝わってくる。
- ・もう少しプロ意識を持ってほしいと思うが、全体的には共感の持てる内容となっている。
- ・公開放送は、長井のイメージアップの機会でもあるので、一人でも多くのリスナーに聴いてもらえるように更に工夫して行ってほしい。
- ・生放送は、放送したら戻せないなので、事前打ち合わせを十分にやってほしい。

<谷澤委員>

- ・その場の雰囲気が感じられていいなと思った。
- ・臨場感を言葉だけで伝えるのは難しいので、ラジオだけでなくメディアミックスも検討してはどうか。
- ・パーソナリティが慣れてきて聴きやすくなった。
- ・市職員からもがんばっているという評価だ。

<村田委員>

- ・花火の打ち上がる音や黒獅子の笛太鼓が、会場の様子が伝わってきてよかった。
- ・お祭りの高揚感のせいか、早口で聞き取り難い部分があった。
- ・水まつりで、その場の音（イベント等）を実際に放送できればもっといいかなと思った。
- ・全体的には、開局 1 年未満とは思えない、すばらしい内容だった。

<寺嶋委員>

- ・公開放送でも綺麗に音を拾って、大変聴きやすかった。
- ・パーソナリティもとても自然体でよかった。
- ・聴いている方は、タイムリーな情報を求めているので、どんな出店があるかイベントがあるかその場に行って中継した情報を入れるとよい。
- ・相手の話を聴き、それについて適切なコメントをするという事を徹底すれば益々良くなるのではないかと思う。
- ・生放送なので、時間等の大事な部分の間違いがあった場合は、訂正してほしい。
- ・将来的には、ぜひ、編集だけでなく一人で企画・取材・編集できるようになってもらいたい。パーソナリティの自分の想いが伝わるラジオにしてほしい。

<塚田委員からの意見>

- ・水まつり、黒獅子まつりともまつり会場の盛り上がった様子が伝わってきた。
- ・黒獅子の歴史的な説明はあったが、舞いの特徴や場面等の説明等もあればより理解も深まったと思う。
- ・内谷市長の生出演や沖縄の金武町の出演やその他の協力団体のインタビューがあればよかった。

<勝見委員長>

- ・会場の様子がもう少し伝わればいいかなと感じた。
- ・全体としては、パーソナリティの話し方も含めて、とても良かった。
- ・生放送でも同じような話が繰り返すこともなく、上手く放送されていた。

それぞれの委員の意見を受けて、現場としてはいかがでしょうか。

<高石>

- ・審議対象番組の時間が長く（実際には6時間）、最初の1時間を自動的に切り取った。実際には、会場の様子やお店の方のインタビューや、実際に食べてのレポートも行なった。
- ・ゲストも呼びたかったが、本人のスケジュールの都合等で出演いただけなかった。
- ・黒獅子まつりでは、ご意見番的な人物の話も入れながら進められれば、背景が伝わる解説が出来たかと思う。次回の改善に繋げたい。
- ・生放送内の間違いについては、スタジオ内も含めて、速やかに訂正できるよう指導していきたい。
- ・月に1回、パーソナリティの研修を10月から実施する予定。
- ・一人でミキサーとトークが出来るパーソナリティが出てきたので、他のメンバーもワン

マン運営が出来るように指導していきたい。

- ・ラジオカーでの取材を目標にインタビュースキルのアップに努めたい。
- ・ラジオカーについては、ライブ中継で使用した機材をそのまま車に詰め込める仕様となっている。
- ・映像・SNS を活用し、放送と通信を融合した伝わるラジオを目指していきたい。

<黒澤>

- ・パーソナリティが取材したものに関しては、その場の雰囲気や自身の取材ポイントを踏まえ、自ら編集することが望ましいと思う。最終的には、ミキサー操作・編集も自身で出来るようにお願いしている。
- ・新しいラジオ部門の業務として、長井市の動画撮影を請け負っている。映像編集も業務に入ってきている。ラジオと映像のリンクも少しずつ近づいていけるように進めていきたい。

<勝見委員長>

- ・今回の放送内容については、各委員から非常に好評価の意見を頂いたと思う。
- ・現場の雰囲気が伝わるような配慮がありよかった。更に努力をお願いしたい。

### ③番組内容、構成、その他、全般について

- ・大変いい形で進んでいるようなので、1周年も1年前も振り返って、ここまでやってきたんだなと皆さんが共感できるような形で計画してほしい。

7. 審議会の答申又は意見に対してとった措置の内容及び年月日

(1) パーソナリティミーティングの実施 (9月15日(火)、10月13日(火)に実施)  
月に1回程度、パーソナリティが回り番で開催し、それぞれが感じる疑問点や問題点を話し合う場を提供する

8. 審議会の意見の概要の公表

公表方法：自社ホームページへの掲載

公表内容：本議事録

公表年月日：平成27年12月17日

9. その他参考事項

次回の放送番組審議会日程について

・平成27年10月26日(月) 18時～ TAS 予定